

ひきじだい

令和3（2021）年7月20日
夏休み号

大和市立
引地台小学校

「一日を大切にしてお有意義な夏休みを！」

校長 箱崎 勝美

梅雨が明け、夏真っ盛りとなりました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の対策としての休業期間もなく、1学期も無事に終業式を迎えることができました。

保護者の皆様には、この4月以来、子どもの健やかな成長を支え、本校の教育にご協力くださりありがとうございました。1学期のまとめとして通知票を渡しますが、ご家庭でもそれを参考にして、子どもが取り組むべき課題について、お話していただければと思います。

さて、いよいよ子どもたちにとって楽しみな夏休みが始まります。昨年度は、感染症対策で休業期間が長期に渡ったため夏休みが短縮されましたが、今年は、7月21日から8月25日までの36日間の休みになります。

夏休みは今までの学習や生活を見つめ直し、新学期に備え志を新たに作る絶好のチャンスです。

江戸時代の儒学者である新井白石のエピソード「一粒の米」があります。新井白石が子どもの頃、父親から言われたそうです。米びつから米を一粒取っても、また米びつに一粒入れても量の変化はわからない。一日勉強したから利口になるわけではない。一日怠けたから愚かになるわけでもない。しかし、それを1年、2年と続けていれば必ず変化がよく見えてくるという内容です。

期間は36日ほどですが、夏休みの過ごし方も同様ではないでしょうか。今年は、例年の夏休みと違い、コロナ禍で、制限された中で過ごすこととなります。得意な学習を伸ばす。苦手な学習を克服する。家の手伝いをする。朝、起きる時間を決めて規則正しい生活を続ける。自分で目標を設定して、読書や日記を書く。自由研究をしてまとめてみる。何かテーマ（課題）を決め、取り組んでみる。それを続けられるとすばらしいと思います。その経験が2学期からの学校生活に生かされると考えます。

お休みの間、コロナ感染予防と共に熱中症や怪我などしないように、健康や安全に留意して、子どもにとって有意義な夏休みを過ごしていただければと思います。

これまで身につけてきた規則正しい生活のリズムを大切に維持し、夏休みの経験が2学期からの学校生活をさらに充実させるきっかけや原動力になりますように願っております。



廊下を歩いていたら、作品が掲示されていたので紹介します。



【児童目標】

(体育館のドーム)



【2年生の絵】

(2階廊下)



【3年生の絵】

(2階廊下)